

ICTによる イノベーションの創出

～スマートシティからオリンピック・パラリンピックまで～

概要

ソフトウェアジャパン2015では、ICTによるイノベーションの創出をメインテーマに、日本における科学技術イノベーションだけでなく社会イノベーションも含め、イノベーション創出に関わる制度的、文化的課題、日本発ITベンチャーの課題、人材育成の課題などに関して幅広く議論します。IT業界における多くの破壊的イノベーションは、米国発のものが多く、なぜ日本のIT企業では破壊的イノベーションが起これにくいのかについても多面的な議論を進めます。

具体的には、各国で盛んに研究開発プロジェクトが進められているICTによるスマートシティ作り、2020年に東京での開催が決定したオリンピック・パラリンピックでのICT利活用、日本発ソフトウェアベンチャーなどについて議論します。また、2020年のオリンピック・パラリンピックという世界にアピールすべき格好のデモンストレーションの場に向けて、IT業界は、何を準備し、どのような技術的・社会的イノベーションを起こし、ポストオリンピック・パラリンピックを視野にいたした社会のデザインをすべきかについて議論します。

主催：一般社団法人 情報処理学会

協賛：一般社団法人 電子情報通信学会、一般社団法人 日本ソフトウェア科学会、
(予定) 一般社団法人 情報サービス産業協会、一般社団法人 日本情報システム・
ユーザー協会、一般社団法人 電子情報技術産業協会、先端IT活用推進コン
ソーシアム、独立行政法人科学技術振興機構、国立情報学研究所、独立行政
法人 情報通信研究機構

後援：文部科学省、経済産業省、総務省、独立行政法人情報処理推進機構
(予定)

プログラム

ITフォーラムセッション [会場:各会場]

09:30-12:00	サービスサイエンスフォーラム 高度IT人材育成フォーラム コンタクトセンターフォーラム ビッグデータ活用実務フォーラム ITダイバーシティフォーラム IT未来人材フォーラム [関連団体] AITC 先端IT活用推進コンソーシアム IPA/SEC 情報処理推進機構 ソフトウェア高信頼化センター(予定)
-------------	--

ITフォーラム展示 [会場:5F 大ホール前]

13:00-18:30	ユニバーサルデザイン協創フォーラム
-------------	-------------------

メインセッションプログラム [会場:5F 大ホール]

13:00-13:05	Opening
13:05-16:20	第1セッション[キーンノートセッション]
16:40-17:50	第2セッション[パネルセッション]
18:00-18:35	第3セッション[ソフトウェアジャパンアワードセレモニー]
18:35-18:40	Closing

情報交換会(懇親会)／

デジタルプラクティスアワード表彰式 [会場:2F 桃源]

18:50-20:25

参加申込・参加費

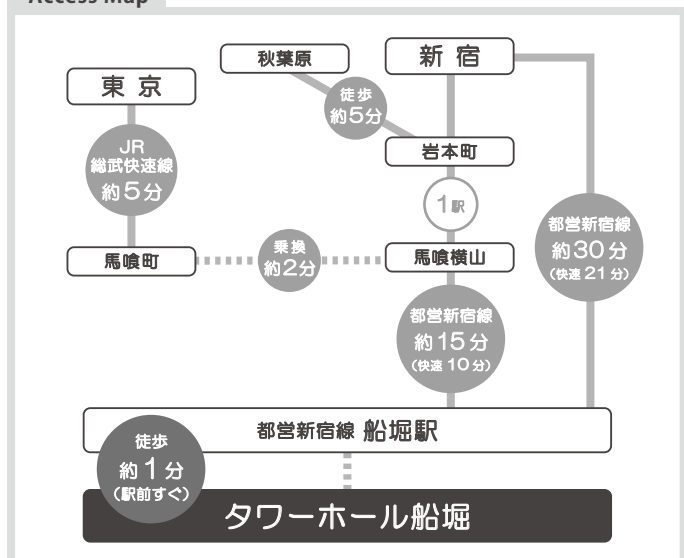


お申込み・詳細は、以下のWebサイトからお願いいたします。

<http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2015/>

Access Map

所要時間として表示している時間は、状況によって異なります。目安としてご覧ください。



ITフォーラムセッション(午前)

参加費	無料
定員	セッションごとに異なりますのでWebサイトでご確認ください。

メインセッション(午後)

カッコ内は当日価格

参加費 (税込)	情報処理学会正会員・賛助会員	5,500円 (7,000円)
	関連学協会・協賛団体の正会員・賛助法人会員 ※1	7,500円 (9,000円)
	上記1、2 以外の一般参加者	10,500円 (12,000円)
	学生 一律 (社会人学生は対象外) ※2	1,000円 (1,000円)
定員	750名	

※1 関連学協会は、電子情報通信、電気、照明、映像情報メディア各学会です。協賛団体は、情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザー協会、電子情報技術産業協会、先端IT活用推進コンソーシアム、日本ソフトウェア科学会、科学技術振興機構、国立情報学研究所、情報通信研究機構です。

※2 社会人学生の方は一般参加者扱いになります。

メインセッションの参加申込をされた方には、後日請求書をお送りいたしますので、2015年1月23日(金)までに指定の口座へお振込み下さい。当日は現金のみ受け付けております。

第1セッション：キーノートセッション

13:05-13:50 基調講演
ICT イノベーションとビジネス



川上量生

株式会社KADOKAWA・DWANGO 代表取締役会長

プロフィール

1968年生まれ。90年、京都大学工学部卒業。同年、株式会社ソフトウェアジャパン入社。97年、株式会社ダウンゴ設立、代表取締役に就任。現在、同社代表取締役会長、株式会社KADOKAWA・DWANGO 代表取締役会長、スタジオジブリプロデューサー見習い。06年より株式会社ニフゴでウェブサービス「ニコニコ動画」運営に携わる。

講演概要

インターネットサービスにおいては、ICTの理解が不可欠といえます。技術を理解し、近未来における技術の限界を予測した上でインターネットサービスを設計することの重要性について、「ニコニコ動画」をはじめとしたダウンゴの取り組みを紹介しながらお話をさせていただきます。

13:55-14:40 招待講演 ①
スマートシティに関する世界のベストプラクティスご紹介



木下 剛

シスコシステムズ合同会社 専務執行役員

プロフィール

シスコシステムズ合同会社において専務執行役員として、IoTインキュベーションラボを担当。現在、インターネット協会 (IAJapan) 副理事長、無線LANビジネス推進連絡会副会長、IPv6普及・高度化推進協議会の各理事、新経済連盟IoT価値創造ワーキンググループの主査を務めており、積極的な社外活動を通じてインターネットの発展へ業界のメンバーとともに取り組んでいます。

講演概要

本セッションでは、イノベーションの促進、経済発展の促進、オリンピック開催都市などにおけるスマートシティの取組みを通じた費用削減等の世界における地方自治体の政策の具体的な事例を共有する。また、スマートシティにおけるIoTのソリューションは、多量かつ多様なデータを生成する多くの領域に関連したエコシステムであり、データを融合させ、特異な点を見出すことに焦点を当てつつ、ビッグデータのデータ分析と、そこから価値を創造する重要性を述べる。

14:45-15:30 招待講演 ②
東京オリンピック・パラリンピック 2020 の先を見据えて



有本建男

独立行政法人科学技術振興機構
研究開発戦略センター 副センター長

プロフィール

1974年京都大学大学院理学研究科修士課程修了、科学技術庁入庁。内閣府大臣官房審議官(科学技術政策担当)などを経て、2004年文部科学省科学技術・学術政策局長。2005年内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官。2006年から、(独)科学技術振興機構社会技術研究開発センターセンター長、研究開発戦略センター副センター長、2012年から現職、同志社大学、早稲田大学、東京理科大学、京都大学客員教授、仁科財団評議員、東レ科学振興会評議員、本田財団理事、日本工学会アカデミー理事、研究技術計画学会副会長。科学技術基本計画など日本の科学技術政策の策定に、長年実務者として参画。近年は、科学的知識の「社会実装」を目標とする課題解決型研究ファンディング制度の開発、科学技術イノベーション政策のための科学の振興と人材養成に努力。OECDの科学助言に関する研究プロジェクトの共同議長。

講演概要

科学技術振興機構(JST)研究開発センター(CRDS)は、公的なシンクタンクとして、科学技術イノベーション政策、システム改革、優先分野の提言などを行っている。最近では、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年を21世紀における持続可能な社会の実現に向けたさまざまな社会経済システム改革のための重要な転換点として捉え、①その準備・運営にあたり科学技術イノベーションとの間でどのような相乗効果が可能かを提示し、②それを契機に、学問領域を超え、今後の科学技術と社会とのかわりについて、科学技術コミュニティからさらなる意見の喚起や積極的な関与を促すための提言を行った。

講演では、提言内容の紹介に加え、加速するグローバル化の下、国際的にイノベーション戦略が強化される中で、現在検討中の日本の新しい科学技術政策における、産学官の役割、ICTの重要性、基本的な考え方や具体的な活動について述べる。

15:35-16:20 招待講演 ③
もう日本のソフトウェアは海外で羽ばたくチャンスはないのか?



平野洋一郎

インフォテリア株式会社 代表取締役社長/CEO
メイド・イン・ジャパン・ソフトウェア(MIJS)コンソーシアム理事長

プロフィール

熊本県生まれ。熊本大学を中退し、ソフトウェア開発ベンチャー設立に参画。日本語ワードプロセッサを開発して8ビット時代のベストセラーとなる。その後、ロータス(現日本IBM)で製品企画とマーケティングを統括。1998年、インフォテリアを創業。2007年、東証マザーズ上場。2008~11年、青山学院大学大学院客員教授(社会情報研究科)。現在、MIJSコンソーシアム理事長、先端IT活用推進コンソーシアム副会長も務める。

講演概要

コンピュータソフトウェアが産業として誕生してから半世紀。現在でも、国内市場では海外製のソフトウェアが圧倒的な市場シェアを持ち、完全な輸入超過の状態にあります。それでは、日本は、輸入から輸出に転じた自動車や家電のように、世界に役立つソフトウェア製品を送り出すことはできないのでしょうか?

これまでにも、ソフトウェアの海外展開を試みた企業はいくつもありますが、未だに死屍累々の状況です。実際に講師が経営するインフォテリアも米国から2回撤退しています。なぜ、日本のソフトウェアは海外に出ることができないのか? 今後ともその機会はあり得ないのか?

本講演では、講師自らの外資系ソフトウェアベンダーでの経験、ソフトウェア開発企業創業と経営の経験、そしてメイド・イン・ジャパン・ソフトウェア(MIJS)コンソーシアム理事長としての経験に基づき、インフォテリアの失敗と挑戦にも具体的に触れながら、これから日本のソフトウェアが世界市場で活躍するための学びと考察を共有します。

第2セッション：パネルセッション

16:40-17:50 イノベーションのデザイン：日本 / 世界で
どのように破壊的イノベーションを起こすか?

司会

徳田英幸

パネリスト

川上量生、木下 剛、有本建男、平野洋一郎

(基調講演、招待講演①~③の講演者)

後藤真孝 (産業技術総合研究所・情報技術研究部門・首席研究員)

第3セッション：ソフトウェアジャパンアワードセレモニー

18:00-18:05 ソフトウェアジャパンアワード 表彰式

18:05-18:20 受賞スピーチ ①

藤田智成

NTTソフトウェアイノベーションセンタ分散処理基盤技術プロジェクト

18:20-18:35 受賞スピーチ ②

江木聡志

樂天株式会社楽天技術研究所